

浜岡原子力発電所の前面海岸周辺における漂砂調査 (追加調査)の実施について

2011年3月4日

当社は、静岡県遠州灘沿岸侵食対策検討委員会^{※1}がおこなっている、遠州灘沿岸の侵食に対する調査・検討への協力の一環として、静岡県と共同で、発電所前面海岸を含む浜岡海岸・御前崎海岸の漂砂^{※2}調査(追加調査)を実施しますのでお知らせします。

なお、今回の追加調査の結果については、同委員会へ報告し、評価して頂く予定です。

<追加調査の概要>

1 調査期間(予定)

2011年3月上旬～2011年5月中旬

なお、調査期間は、気象状況により変更となる場合があります。

2 調査の内容

2009年12月から2010年3月にかけて実施した浜岡海岸・御前崎海岸の漂砂調査では、投入した着色砂(粒径0.19mm)が、その粒径が安定して存在できる海域部で沿岸方向に広く分布し、海浜部に留まる量が少ないという知見を得ました。

しかし、海浜部の砂の移動を把握するために必要なデータが得られなかったことから、今回の追加調査では、海浜部を構成する砂(粒径0.3mm程度)を発電所の前面海岸へ投入するとともに、発電所周辺の海岸へ撒き出し、それらの移動方向・移動量を調査します。

<添付資料>

浜岡海岸・御前崎海岸における漂砂調査(追加調査)の概要

<これまでの経緯>

浜岡原子力発電所の前面海岸周辺における漂砂調査の実施について

([2009年12月7日](#)お知らせ済み)

遠州灘沿岸侵食対策検討委員会への調査結果の報告、追加調査の決定

(2010年9月10日、第13回委員会)

※1 遠州灘沿岸侵食対策検討委員会は、遠州灘沿岸(静岡県内)における海岸侵食の対策工法を検討するため、静岡県が2004年度に設置した委員会であり、学識経験者、地元市町行政代表者、河川・海岸管理者で構成されています。

※2 漂砂は、波浪に伴う流れにより海岸部を移動している砂です。

以上

2011年3月4日
静岡県
中部電力株式会社

浜岡海岸・御前崎海岸における漂砂調査(追加調査)の概要

1 調査目的・経緯

静岡県では、遠州灘沿岸の海岸侵食の対策工法を検討するため、2004年度から学識経験者、地元市町行政代表者、河川・海岸管理者で構成する、遠州灘沿岸侵食対策検討委員会(以下、委員会)を設置しており、これまでに天竜川西側の浜松篠原海岸(中田島海岸)、新居海岸等の対策工法立案に取り組んできました。2007年度からは、検討対象範囲を遠州灘沿岸全域に拡大し、広域的・長期的な対策の検討に着手しています。

委員会における検討の一助として、天竜川以東において海岸侵食が懸念されている浜岡海岸・御前崎海岸における漂砂(海浜部を移動している砂)の移動状況を把握するために、2009年12月～2010年3月に静岡県と中部電力(株)の共同による漂砂調査^{※1}(以下、前回調査)を実施しました。

前回調査の結果は、2010年9月10日の第13回委員会に報告し、審議されました。投入した着色砂(粒径0.19mm)は、その粒径が安定して存在できる本来の位置である海域部に沿岸方向に広く分布し、海浜部に留まる量は少なかったという知見が得られたものの、海浜部を構成する砂(粒径0.3mm程度)の移動状況を把握することを目的とした追加調査をおこなうことが委員会で決定しました。

これを受けて、再度、静岡県と中部電力(株)の共同により本調査を実施することとしました。

なお、追加調査の結果についても、委員会へ報告し、評価して頂く予定です。

^{※1} 漂砂調査:着色した砂を海浜部から投入もしくは撒き出し、その移動状況を追跡することにより、漂砂の移動方向・移動量を把握することを目的とした現地調査

2 調査方法

中部電力(株)浜岡原子力発電所の冷却水放水口に着色した砂(投入量 50m³:ダンプトラック 10台相当)を投入するとともに、新野川右岸・箆川右岸に着色した砂(投入量各 10m³)を撒き出した後に、投入・撒き出し箇所周辺の海浜部および海域部における砂を調査点一箇所当たり2ヶ所採取し、採取した砂に含まれる着色した砂の濃度を求めます。

砂の採取は、着色した砂の拡散状況を把握する調査(分布調査)として、投入後3週間までの間に海浜部で9回、海域部で5回実施します。また、沿岸方向に移動していく状況を把握する調査(時系列調査)として、投入後9週間までの間に海浜部で15回採取します。

なお、採取した砂は、豊橋技術科学大学の青木研究室において、遠州灘プロジェクト^{※2}で開発された測定装置を用いて濃度測定します。

着色砂の
サンプル



着色砂の
測定装置



3 着色砂投入・撒き出し箇所および採取箇所

*砂の採取位置は現地確認結果を踏まえて決定していきます。



4 調査期間(予定)

2011年3月～2011年5月

		2011/2	2011/3	2011/4	2011/5
調査準備	着色砂の製作	■			
	投入・採取箇所の事前確認		■		
調査	着色砂の投入・撒き出し		★		
	砂の採取		■	■	■
	濃度測定			■	■

*調査期間は、調査の進捗や関係各所との調整等により変更となる可能性があります。

5 問い合わせ先

本資料について不明な点は以下の問い合わせ先までご連絡下さい。

- ✓ 静岡県交通基盤部河川砂防局河川海岸整備課 光信、佐藤(054-221-3037)
- ✓ 中部電力(株)土木建設部原子力土建G 石黒、橋詰(052-973-3128)

^{※2} 遠州灘プロジェクト:海岸侵食によって失われていく砂浜を維持・回復させ、海浜環境を保全しながら海岸の防災力を向上させるための土砂管理の方法を、天竜川・遠州灘モデルとして提案しようというものであり、文部科学省の科学技術振興調整費による産官学連携の研究プロジェクトとして2006年から5年間の計画で実施されている。